

いよいよ8月20日の夏祭り本番が近付いてきました。

夏祭りは野外ですので、譜面が飛ぶ事があります。各自クリップや洗濯バサミ等を用意しましょう

## ○練習計画

8月	4日	19:30~20:10	明石さん担当の夏祭りの曲
		20:20~21:00	野口さん担当の夏祭りの曲と「たなばた」
	11日	18:30~19:20	野口さん担当の夏祭りの曲
		19:30~20:30	明石さん担当の夏祭りの曲と「天空への挑戦」
	18日	19:30~20:00	明石さん担当の夏祭りの曲
		20:00~20:30	野口さん担当の夏祭りの曲
		20:30~21:00	夏祭り曲順通し
	25日	19:30~20:10	「たなばた」
		20:20~21:00	「天空への挑戦」

※ 河毛先生の来団日は、9月1日、29日、10月13日、20日、27日です。

- ・ 8月11日(木:祝)の練習は、八幡市民交流センター2階ホールにて18:00~20:30で行います。いつもと場所と時間が異なりますのでご注意下さい。(合奏は18時30分~)
- ・ 11日は楽器運搬があります。可能な方は運搬のお手伝いをお願いします。集合17時30分男山公民館。亀村さんの車にて運搬します。練習終了後に公民館に楽器を戻しますので、こちらもお手伝いをお願いします。
- ・ 夏祭りの日程は、8月20日(土)の午後からになります。場所は男山第三住宅公園で行います。当日は午前中に最終練習を予定しております。
- ・ 9月22日(木・祝)の練習ですが、公民館休館のため、八幡市民合流センター2階ホールにて、18時~より行います。

## ○演奏会情報

日程	時間	内容	場所	備考
9月11日(日)	開場13:00 開演14:00	大阪市民管弦楽団 第84回 定期演奏会	ザ・シンフォニーホール	出演:小田川さん

プログラム

ボロディン

歌劇「イーゴリ公」より

「だったん人の娘の踊り/だったん人の踊り」

マスネ

組曲第6番「おとぎの国の風景」

ショスタコーヴィチ

交響曲第10番

指揮

中井 章徳氏



澤田さんより寄稿頂きました。

先日の練習の終わりのこと。

GPのK野編集長との話から、「何かネタを」ということで、初めての寄稿することになりました。

今回のネタは、珈琲と音楽と作曲家の話です。

2016年のはじめ、私のfacebookに珈琲の話を投稿しました。

エチオピアで自生していたコーヒーが、キリスト教圏に持ち込まれて世界に広がったコーヒー。

バツハもコーヒーをこよなく愛し、そしてコーヒーカンタータなるものまで書いた。

そのコーヒーカンタータとは、「キスよりも素晴らしく、マスカットよりも甘い。そんな珈琲をやめたたまるかっ」とコーヒー中毒者の珈琲賛歌である。

という内容だったと思います。

実は、この話には元ネタがありまして、ヤマハのFC会員の季刊誌「音遊人(みゆーじん)」に載っていた話です。読み進めていますと、年末毎年になると耳にするあの曲を書いた音楽家と珈琲の話も書かれていました。

ベートーヴェンは、耳の病気にかかってからというもの、自宅での飲食が増えたとされています。

家政婦を雇っても、口がうるさかったとされるベートーヴェンに辟易し、長く続いたものはいなかったとされます。彼の日記には「家政婦を解雇した。」とかそんなことが書かれていたそうです。

そんな彼なので、食事に苦勞をしていたというのはわかるのですが、自宅で呑む珈琲についてはすごいこだわりがあったそうです。

彼が、自宅で飲む珈琲に使用する豆は、きっちり60粒と決めていたそうです。

これを挽くと、おおよそ10グラム程度で、現代の抽出に使うもつとも標準的な量だそうです。

しかも、豆を挽くミルはトルコ式を使用していて、秘蔵の抽出器で抽出していたそうです。

ベートーヴェンこそが、音楽会イチの珈琲マニアだったのかも知れないですね。

ちなみに、私の記憶になる音楽と珈琲と言えば・・・、

もう、店がなくなって久しいですが、京都は西木屋町を四条通から上がったところに「みゆーず」という喫茶店がありました。

私は数える程度しか行かなかったのですが、レトロな雰囲気のある喫茶店でした。

当時の同僚のコピーライターは、「あの店でカシオペアを開いて、難しい顔をしてコピーライトを考えていると、自分が格好良く見えるんだよね。」

と言っていたのを思い出します。

諸君。

たまの週末には、難しい顔をして珈琲なるものを、ゆっくりと飲んでみるのはいかが？

